No.54／9月議会号
2026・11・01

特集１：舟橋村の未来のために！
特集２：ふなはし議会だより表紙集

ふなはし議会だより

Funahashi Bridging Voices

ふなはし ぶりっじんぐ うぉいしーず

INDEX

○ 特集１:舟橋村の未来のために! ……P 2
○ NEWS……P 7
○ FUN! FUN! FUNAHASHI! ……P 8
○ 一般質問 ……P 9
○ 特集２:ふなはし議会だより表紙集 ……P16
○ ９月定例会議案一覧 ……P17
○ 常任委員会 ……P18
○ クロスワード、あとがき ……P20



令和８年度９月定例会後の集合写真

舟橋村民の皆様に見守られ、議員７名と議会事務局で力を合わせ、計16回の定例会を無事に終えることができました。

このメンバーでの舟橋村議会は、令和８年10月22日で一区切りとなります。

４年間、村議会を温かく見守り、支えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

舟橋村議会特集

2022.10.23 ～ 2026.10.22

舟橋村の未来のために！

４年間の活動記録

議席番号４番
たむらかおる
田村　馨

議席番号５番
もりひろあき
森　弘秋

議席番号３番
かとうちえこ
加藤 智恵子



議席番号７番
まえはらえいせき
前原 英石

議席番号２番
ふるかわげんき
古川 元規

議席番号１番
こすぎともひろ
小杉 知弘

議席番号６番
たけしまたかゆき
竹島 貴行

上記イラストは生成 AI で作成したイメージです。

2022.10.23 ～ 2023.10.22

不信任決議からの再始動

TIMELINE

2022.10.23：**舟橋村議会議員選挙**
①酒井信行　②古川 元規
③加藤智恵子　④田村馨
⑤森弘秋　⑥竹島貴行
⑦前原 英石

10.26：**令和４年第２回舟橋村議会臨時会**
＜議長＞前原 英石
＜副議長＞古川 元規

11.04：**議員辞職（酒井 信行）**

11.27：**舟橋村長選挙**
＜当選＞渡辺光
舟橋村議会議員補欠選挙
＜当選＞小杉知弘

12.09 ～ 12.21：**令和４年１２月舟橋村議会定例会**

2023.02.06：トルコ・シリア大地震

03.06 ～ 03.17：**令和５年３月舟橋村議会定例会**

03.21 ～ 03.22：WBC 日本代表優勝

05.08：新型コロナが「5 類」に移行

05.23：全国町村議会議長 副議長 研修会

06.05 ～ 06.16：**令和５年６月舟橋村議会定例会**

08.24：福島第一原発の処理水海洋放出開始

09.05 ～ 09.15：**令和５年９月舟橋村議会定例会**

10.12：**令和５年第１回舟橋村議会臨時会**

渡辺村政誕生

不安と希望が交錯し時代が動いた一年

この一年は舟橋村にとって大きな転換期でした。

舟橋村においては前代未聞の議会解散後に行われた2022年10月の村議会議員選挙。そして新たな議会体制が発足しましたが、その直後には議員辞職、村長選挙、議員補欠選挙が続き、村内を2分する動きがあり、連日、舟橋村が報道で取り上げられていました。

その結果、11月には渡辺村政が誕生し、議会も、この難局を乗り切るためにベテラン議員であった前原議員が議長に就任し、新たな体制で再出発することとなりました。

先行きが見通せない中、村政に対する住民の皆様の期待と不安を受け止めながら、議員一人ひとりが「舟橋村のために議会は何をすべきか」を改めて考える一年だったように思います。

その賛否はともかく、議会の意見を受けて当局側の提案の一部を差し戻すような場面も見られ、どこかこれまでは平行線をたどる議論にも、光が差す場面もあったように思います。

社会情勢においても、猛威を振るっていた新型コロナも収束の兆しが見えてきて明るくなっていく中、村政においても、少しずつ新しい形に変化していった1年でした。

（副議長※当時：古川元規）



村議会議員選挙当選証書付与式（2022年10月24日）

2023.10.23 ～ 2024.10.22

村議会初の条例制定

TIMELINE

2023.12.04 **令和５年１２月**
～ 12.15： **舟橋村議会定例会**
舟橋村の豊かな水辺環境を守る条例制定

12.19： 立山舟橋商工会と広報特別委員会の意見交換会開催

2024.01.01： 令和６年度能登半島地震
本村では震度５強を観測

03.04 **令和６年３月**
～ 03.15： **舟橋村議会定例会**

03.16： 北陸新幹線
金沢―敦賀間延伸開業

04.08： 舟橋村消防団と広報特別委員会の意見交換会開催

05.24： 全国町村議会議長
副議長 研修会

06.03 **令和６年６月**
～ 06.14： **舟橋村議会定例会**

06.19： 社会福祉協議会と広報特別委員会の意見交換会開催

07.26 パリオリンピック開幕
～ 08.11：

08.20： 中新川郡町村議会議員研修会

08.28： 電子回覧板アプリ「結ネット」の運用開始

09.02 **令和６年９月**
～ 09.13： **舟橋村議会定例会**

10.01： 石破内閣発足

10.11： 日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞

議会の新たな挑戦

日本が動いた一年、舟橋村議会も新たな一歩

条例とは、地方自治体が定めるまちづくりのルールです。

2023年12月定例会において、舟橋村議会初の議員提出議案による条例制定が可決されました。

初の条例とは「舟橋村の豊かな水辺環境を守る条例」で、制定に至るまでには全員で何度も協議し一字一句まで見直して進めましたが、条例を制定するということは生半可な気持ちで出来るものではないと強く実感しました。

今後も村民の負託に応える形での条例を制定できるよう、調査研究を重ねていく事が村民のウェルビーイングにもつながるものと思います。

また新たな取り組みとして行った事業が、広報特別委員会と各種団体との意見交換会です。

2024年12月の立山舟橋商工会との交換会を皮切りに、2024年４月には舟橋村消防団、そして６月には社会福祉協議会と交換会を重ねました。意見交換を行ったことによって、それぞれが抱えている課題や要望など、細かな事まで知る事が出来て有意義な時間を得ることが出来ました。

また、意見交換会後の議会では、それぞれの団体から伺った声を一般質問や委員会質問でぶつけ、実現できるよう提案させていただきました。その後、その一部が予算化されたものも有り、この事業を行った意味があったと思いました。

（議長※当時:前原英石）



舟橋村消防団と広報特別委員会の意見交換会の様子

2024.10.23 ～ 2025.10.22

村史以来最も若い議長

TIMELINE

2024.12.02 ～ 12.13：**令和６年１２月 舟橋村議会定例会**
＜議長＞古川 元規
＜副議長＞小杉 知弘

2025.03.03 ～ 03.14：**令和７年３月 舟橋村議会定例会**

04.13：2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催

04.16 ～ 04.17：先進地視察（茨城県下妻市）

05.27：全国町村議会議長 副議長 研修会

05.31：舟橋村立舟橋中学校 創立 75 周年記念式

06.02 ～ 06.13：**令和７年６月 舟橋村議会定例会**
田村馨議員に対する 問責決議案可決

08.15：終戦 80 年

09.01 ～ 09.12：**令和７年９月 舟橋村議会定例会**

09.26：ナウル共和国政府観光局と 本村が広報連携協定を締結

10.21：高市内閣発足

古川議長就任

新しい何かが始まる事を予感させる一年

2024年の12月議会では、前原議員による議長職の辞任に伴い、新議長に古川議員、副議長に小杉が就任しました。古川議長は当時45歳。本村においては記録で確認できる範囲ではありますが、最年少の議長となりました。各委員会の委員長や委員の入れ替えも行われ、新体制での議会がスタートしています。一方で、田村馨議員の一連の行動に対し、村議会初の問責決議案が可決するという出来事もありました。

村においてはナウル共和国政府観光局と広報連携協定を締結するという本村初の試みも実を結びました。

国内では2025年春に大阪万博が開催され、未来に向けた新しい技術がたくさん紹介されました。また同年10月には高市早苗氏が女性初の内閣総理大臣となり、国内においても新しい時代を予感させるような一年でした。

2025年４月の先進地視察においては、茨城県下妻市にのふるさと納税の返礼品を生産している工場の視察に行きました。地元の雇用を創出しつつ、今までであれば捨ててしまうような農産物を加工し、返礼品として商品化するノウハウの一部は、本年度より稼働する本村の農産物加工場に生かされています。（副議長：小杉知弘）



下妻市の農産物加工場視察の様子

2025.10.23 ～ 2026.10.22

議会の提言が次々と実現

TIMELINE

2025.10.24：中新川郡町村議会議員研修会

11.10 ～ 11.11：議会視察（鳥取県日吉津村）（島根県雲南市）

12.02 ～ 12.13：**令和７年１２月舟橋村議会定例会**

2026.02.06 ～ 02.22：ミラノ・コルティナ冬季五輪開催

02.10：**令和８年第１回舟橋村議会臨時会**

02.16：舟橋村議会が町村議会として優良表彰

02.28：米国・イスラエルとイランの戦争が勃発

03.02 ～ 03.13：**令和８年３月舟橋村議会定例会**

05.25 ～ 05.26：全国町村議会議長副議長 研修会

06.02 ～ 06.13：**令和８年６月舟橋村議会定例会**

07.28：令和８年熊本地震

08.21：中新川郡町村議会議員研修会

08.31 ～ 09.11：**令和８年９月舟橋村議会定例会**

10.13 ～ 10.18：**舟橋村長選挙**
＜当選＞渡辺光
舟橋村議会議員選挙
①酒井信行　②古川 元規
③加藤智恵子　④田村馨
⑤森弘秋　⑥前原 英石

村づくりの次の一歩

実る成果と次世代への課題

議会の仕事は、提案してすぐに結果が出るものばかりではありません。何度も議論を重ね、行政に働きかけ、時には数年かけてようやく形になるものもあります。この一年は、そんな「これまで蒔いてきた種」が次々と芽吹き始めた一年でした。

ふるさと納税返礼品の開発につながる農産物加工施設の整備をはじめ、将来の公共交通を考える実証実験などの新たな取り組みや、消防団屯所へのシャワールームの設置など、議会と議論してきた取り組みが具体的な形となりました。

2025年度には、農産物加工や返礼品開発の先進事例を学ぶため、茨城県下妻市への視察も行っています。

その一方で、任期の最後となる2026年10月の村議会議員選挙は、立候補者が定数に届かない結果となりました。この出来事は、私たちに新たな課題を突きつけたように思います。

村民の声を議会に届けるだけではなく、村民自身が政治や村づくりに関心を持ち、その担い手として一歩踏み出せる環境をつくることも、これからの議会の大切な役割であると感じさせられました。

（議長：古川元規）



鳥取県日吉津村視察の様子

NEWS

最近の気になる議会関連ニュース！

01 防災意識を新たに「四季防災館」を見学
02 交通事故ゼロの村づくりを目指して
03 世代間交流が深まった一日

NEWS 01

防災意識を新たに「四季防災館」を見学

2026.8.21　中新川郡町村議会議長会研修会

中新川郡町村議会議員研修会として、富山市の「ALSOKとやま四季防災館」を見学しました。

今年４月にリニューアルされたばかりで、過去に訪れた議員も新たな展示や体験を通して、防災について改めて学ぶ機会となりました。

また、７月28日の熊本地震や８月中旬の千葉豪雨など、各地で災害が相次いだ直後の研修となり、改めて災害への備えの大切さを実感する、非常に有意義な時間となりました。近年は、「天災は忘れた頃にやってくる」から「災害は忘れる前にやってくる」とも言われます。日頃から防災意識を高め、備えておくことの重要性を改めて認識しました。今後も村役場と連携し、災害に強く、安心して暮らせる村づくりに取り組んでまいります。（小杉 記）



NEWS 02

交通事故ゼロの村づくりを目指して

2026.9.24　交通安全舟橋村民大会

秋の全国交通安全運動の実施にあたり、村議会を代表して古川議長が激励の挨拶をしました。本年９月１日から生活道路における法定速度が時速30kmに引き下げられたことにも言及しながら、本日の大会を期に、交通安全への意識が村内全体にさらに広がることを願い、議会としても交通事故ゼロの村を目指して活動していく旨を発信しました。（古川 記）

NEWS 03

世代間交流が深まった一日

2026.10.4　舟橋村住民運動会

今年の住民運動会は、地域の皆さんの一体感と笑顔があふれる一日となりました。

子供から高齢者まで幅広い世代の皆さんが参加し、思考をこらしたクイズや玉入れ、リレーなどを通じて普段では出来ない世代間交流が生まれたのではないかと感じました。勝敗にこだわらず競技する姿に大きな声援と拍手が送られていました。

今回の運動会で深まった住民同士の絆を大切に今後もみんなで支えあえる、そんな村づくりに繋がる住民運動会になったと感じました。

自治会の皆さんや大会関係者の方、本当にご苦労様でした。（前原 記）

前号（６月議会号）のクロスワードの答え

富山空港の新愛称

トA 山 タB カC 山 スD シE 空港

６月議会号はこちら

13エ		15ツ		17サ		10カC	20ロ	21リ	ー
1ヒ	14カ	ク	サ	ン	ゲ	ン	ソ	ク	
2メ	ツ	シE		タB		11ム	ク		23ハ
	テ		6ミ	マ	18モ	リ	タ	22イ	ム
3ア	バ	16ラ		7リ	ン		12イ	ワ	レ
4イ	シ	ン		8ア	ジ	19トA			ッ
スD		5チ	リ		9ユ	イ	ネ	ツ	ト

FUN! FUN! FUNAHASHI!

素敵な村民 みーつけた！

FUN!FUN!FUNAHASHI! は、スポーツや文化活動などでがんばっている村民や楽しんでいる村民を紹介します。今回は以下の質問に答えてもらいました。

①今がんばっている事
②将来の夢、今後の目標
③スポーツ／文化活動をはじめたきっかけ
④舟橋村の好きなところ



伊尾（いお）　紀之介（のりのすけ）さん

①生徒会活動とバドミントン
②今後も全国大会に出場すること。将来はスポーツ関連の仕事をしてみたい
③父と姉がやっていたから
④自然豊かで村民の皆さんが温かい



宮川（みやがわ）　惇（あつし）さん

①日々の業務を一つひとつ覚え、一日も早く業務を習得し 職務に励むことと、知識と経験を積むことです。
②村民の皆様に信頼される職員となり、舟橋村・富山県の発展に寄与することです。
③兄弟の影響で小学校から野球を始め、現在も草野球を楽しんでいます！
④立山連峰を望む、美しく豊かな自然があるところです。



福島（ふくしま）　光彩（みや）さん

①陸上競技・ピアノ
②全国大会で上位入賞
③姉と一緒に陸上クラブへ
④駄菓子屋さくらんぼ・オレンジパーク

FUN!FUN!FUNAHASHI! であなたの活動を紹介させてください！

FUN!FUN!FUNAHASHI! では、スポーツや文化活動などでがんばっていたり、楽しんでいたりする村民を今後も紹介していきます。年齢や分野は問いません。あなたのFUN（がんばっている事や楽しんでいる事）を紹介していただける方は右の QR コードより必要情報の登録をお願いいたします。

村政のココを問う！

一般質問

舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考えを聞く**一般質問**。
９月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

田村　馨　議員 …… P10

1．避難所の環境改善について問う
2．トイレの確保について問う
3．防災備蓄品の公表について問う

加藤　智恵子　議員 …… P11

1．学校に行きづらい子どもへの支援と舟橋村の居場所づくりについて問う
2．８月豪雨における避難対応の検証と、早めの避難を促す取組について問う

小杉　知弘　議員 …… P12

1．中学校部活動の地域展開における家庭負担の軽減について問う

前原　英石　議員 …… P13

1．舟橋村農産物加工場施設の今後の展望について問う
2．消防団員の確保と災害時の対応強化について問う

森　弘秋　議員 …… P14

1．舟橋村の未来を見て、村民のウェルビーイングの向上に向けた夢を語る。を問う

竹島　貴行　議員 …… P15

1．災害対応に対する村長の見解を問う
2．舟橋村の基本自治について見解を問う
3．Ｊアラート機能についての意味合について問う
4．公共トイレの洋式化と村民へのサービス対応について問う
5．小中学校の防災対策への取組みについて問う

01 一般質問

田村 馨 議員

◀動画はこちら



引き続き防災備蓄品の充実に努める

Q 避難所の環境改善について問う

豪雨など自然災害が増え、被災者の生活を支えるための体制整備は喫緊の課題となっている。避難所の環境改善を図り、想定される避難生活に起因する災害関連死が長年問題とされており、清潔なトイレや温かい食事などを迅速に提供する体制を整える必要がある。

避難所の防災備蓄品の導入を考えた場合、現在の備蓄量の満足度がどの程度か伺う。

A 国のガイドラインを踏まえ備蓄体制を整備

本村では、地域防災計画に基づき、役場の防災備蓄庫に水や食料、非常用電源、常備薬、マスク、消毒薬、炊出し用具、毛布、暖房用具などの物資・資機材の確保を進めている。

防災備蓄品については、内閣府が今年度内に策定予定の、備蓄すべき品目や数量の基準を示したガイドラインを踏まえ、今後も計画的な整備を進めていく。



携帯トイレを防災備蓄品として確保

Q トイレの確保について問う

被災者の健康が損なわれないようにするため、とりわけ重要になるのがトイレの確保。

全国各地で災害時のトイレ確保に向けた動きが広がり始め、富山県内の他自治体においても移動式トイレの導入が進められている。移動式トイレは各種イベントなどでも活用でき、非常時には各所に派遣できるため、大変有効であり、本村としても導入しても良いのではないか。

また平時から災害時を想定した体制づくりが重要で村民への意識づけのためにも、全世帯に人数分の携帯トイレを配布したらどうか伺う。

A 災害時のトイレ確保と関係機関との連携を推進

災害時のトイレ確保については、県内自治体で導入が進むトイレカーやトイレトレーラーについて、平時のイベントでの活用や災害地への派遣といった利点も含め、他自治体の状況を研究していく。携帯トイレについては、まず村の防災備蓄品としての確保に努める。

飲料水については、昨年10月、企業版ふるさと納税を活用し、災害時にも使用できる浄水器の寄贈を受けるなど、民間事業者との連携も進めている。

備蓄状況は法改正により年1回の公表が義務付けられており、県が市町村分を取りまとめて公表している。今後も民間事業者との連携協定や、県、15市町村による「チームとやま」の体制構築を進め、村民の防災意識と防災対策への信頼感の向上に努める。

02 一般質問 加藤 智恵子 議員

◀動画はこちら



令和９年度 校内教育支援センター開設へ

Q 学校に行きづらい子どもへの支援と舟橋村内のこどもの居場所づくりについて問う

近年、さまざまな理由から学校に行きづらさを感じたり、不登校となったりする子どもがいます。そこで

- 学校、教育委員会、スクールカウンセラー等による支援と連携
- 保護者が安心して相談できる支援体制
- 村外の教育支援センターを利用する際の距離や送迎等の負担
- 学校以外で、村内の既存の公共施設や人材を活用した、子どもの居場所と保護者の相談支援の場づくりについて、村の現状と今後の考えを伺う。

A 不登校児童生徒への支援体制の充実を図る

学校では、日々の観察やアンケート、面談を通じて児童生徒の状況把握に努めるとともに、ソーシャルスキルトレーニングやＳＯＳ教育を充実させ、不登校を未然に防ぐ取組を進めている。支援が必要な場合は、管理職や担任、特別支援コーディネーター等によるケース会議を開き、保護者やスクールカウンセラー、関係機関と連携して対応する。不登校傾向にある児童生徒には、学習支援や相談室の利用など、一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。村外の教育支援センターについては、立山町教育支援センター「フレンドリー」と連携し、利用料を村が負担している。認定されたフリースクールは県の補助制度を活用できるが、交通費や送迎は保護者の負担となる。

また、身近な支援の場として、令和９年度から小学校内に校内教育支援センターの開設を検討しており、安心できる居場所と学びの継続、問題の早期発見・支援につなげていく。

避難行動要支援者名簿の共有体制を検討中

Q 8月豪雨における避難対応の検証と、早めの避難を促す取組について問う

今回の豪雨を教訓として、以下５点について今後の改善と避難体制を伺う。

- 避難情報の発令、避難所開設、情報伝達等の検証と課題
- 警戒レベル3「高齢者等避難」の段階からの早めの避難
- 避難に支援を必要とする方の把握と個別の避難支援体制
- 地域や関係機関との連携による支援体制
- 子どもが大声を出したり乳幼児を連れた子供の泣き声が他の避難者に迷惑をかけているという「気遣い」がいらない安心して避難できる母子などに配慮した避難場所

A 関係機関と連携し安全な避難体制の構築を図る

８月26日から28日にかけての大雨では、結ネットを通じて防災情報を発信し、大雨警報や白岩川ダムの洪水調節、今後の天候について段階的に周知した。警戒レベル３の際には、自治会長に公民館を避難所として利用できるよう呼びかけ、役場直通電話によるオンコール対応も行った。また、避難行動要支援者名簿を自治会長、消防、警察、民生委員と共有し、複数の支援者による体制づくりを進めている。今回は避難所開設や人的・物的被害はなかったが、今後、プライバシー保護に関してさらに配慮した避難所運営マニュアルの整備や関係機関との連携を進め、安全に避難できる体制の構築に努める。

03 一般質問 小杉 知弘 議員

◀動画はこちら



地域クラブへの補助金を検討

Q 中学校部活動の地域展開における家庭負担の軽減について問う

中学校部活動の地域展開が本年度より始まっているが、地域展開に伴い、指導者への謝金や施設使用料、保険料、クラブの運営費等が必要となり、これまでの学校部活動と比べて保護者の経済的負担が増加することが懸念される。部活動は、子どもたちがスポーツや文化活動を通じて、協調性や努力することの大切さ、挑戦する心などを育む貴重な機会であり、家庭の経済状況によって参加機会に格差が生じることは避けなければならない。そこで、地域全体で子どもたちの成長を支えるという観点から、次の３点について所見を問う。

①地域展開に伴う保護者負担の増加について、本村はどのように認識しているのか。

②上市町や箕面市など、地域クラブ活動の会費を補助する自治体の取り組みをどのように評価し、本村でも導入する考えがあるのか。

③国や県の補助制度を最大限活用しながら、村独自の会費補助等による保護者負担の軽減を図る考えがあるのか。

A 地域クラブへの支援を通じ活動環境を整備

部活動の地域展開に伴う保護者負担については、任意のクラブ等に加入する場合、活動費や活動場所までの送迎など、一定の負担が生じると認識している。

舟橋中学校では、本年度から部活動を平日のみとし、土日・祝日は実施していない。現在、学校外での活動は個人が希望して参加するものに限られているが、今後、平日の部活動を含めて地域展開へ移行した場合、参加する地域クラブ等の活動費など、新たな負担が生じることが想定される。

地域クラブへの支援については、自治体によって補助の有無や金額が異なる。本村では、地域学校協働本部を中心とした地域クラブを設立し、既存団体の加入を進めるとともに、国の補助金等を活用してクラブの活動や育成に対する補助金を拠出することを検討している。

保護者負担の軽減については、すべての活動が地域展開へ移行する段階で検討し、現時点では個人への直接的な補助ではなく、地域クラブへの支援を通じて活動環境を整備していく。



今年度より発足した舟橋村陸上競技クラブ

04 一般質問 前原 英石 議員

◀動画はこちら



農産物加工施設 ふるさと納税の返礼品を中心に展開

Q 舟橋村農産物加工場施設の今後の展望について問う

加工機・製造機で出来る製品については、どのようなものを考えているのか？地産地消の観点から舟橋村産農産物を使った食品開発についての考えは？

加工前の製品について仕入れ先等は既に目途が立っているのか？

販売ルートなど今後の計画については、ふるさと納税の返礼品とするとのことだが、これが出来る事によってどの程度の税収アップを想定しているのか？また一般の販売や今後の販促についての考えは？

これまで味噌加工が行われていた。舟橋村の味噌を楽しみにしておられる方も多いと思うが、今後の味噌加工について問う。

A 加工施設の機能拡充で新たな特産品を創出

現在、加工施設では味噌製造加工許可を取得しているが、今回の整備により、新たに「惣菜加工」と「水産製品製造」の２種類の許可取得を予定している。惣菜加工では幅広い商品の製造が可能となり、水産製品製造では富山県の豊かな海産物を取り扱うことが可能。舟橋村の農産物や味噌と富山の海の幸を組み合わせることで、新たな商品や付加価値の創出につながるものと期待している。

施設の運営は村が出資する法人による製造を想定しており、販売については、まず村へのメリットが大きいふるさと納税の返礼品を中心に展開する考え。魅力ある商品開発によってふるさと納税の増収につなげ、その成果を施設拡充や新たな投資に生かすことで、さらなる増収につながる好循環の確立を目指す。そのためにも、今回予定する２種類の製造許可の取得が必要と考えている。

消防団　活動しやすい環境の構築へ

Q 消防団員の確保と災害時の対応強化について問う

今後の増員・増強についての考えと団員数確保のための取組について問う。また、消防団員が担う業務は地震・豪雨など各種災害などで多様化していると思うが、消防団の総合力強化とそれぞれに違う災害に対する技術向上に向けての取組は？

最後に、警報レベルに伴う各レベルに対する体制は異なると思うがレベルごとの体制について問う。

A 消防団員の確保と装備の充実に向けた取組を進める

消防団の定数は平成29年に30人から35人へ変更し、団員数は平成29年の32人から、令和3年以降は30人で推移している。団員確保に向け、広報紙での募集のほか、成人式や村の催事などで勧誘を行っている。今後も村の実情を踏まえ、人と人とのつながりを生かした働きかけが重要と考えている。

団員の負担軽減については、要望のあったシャワールームの整備を進めるほか、訓練を盛夏から涼しい時期へ変更するなど、活動しやすい環境づくりに取り組んでいる。

消防団は、平時の防災・予防活動をはじめ、火災時の初期消火、災害時の警戒巡視、救援救護、避難支援などを担っている。本村では特に、大雨による浸水や白岩川の越水・破堤に備えた避難支援の機動力確保が重要。避難所の物資・装備の整備を進めた上で、消防団の装備拡充についても検討していく。

05 一般質問

森 弘秋 議員

◀動画はこちら



村民誰もが自分らしく暮らせる未来へ

Q 舟橋村の未来を見て、村民のウェルビーイングの向上に向けた夢を語る。を問う「今日よりも明日がよい日でありますように!!」

東芦原地区パレットタウン東側用水路の開渠部分の暗渠化（グレーチング蓋）の環境整備及び村道に掛かる屈折部分の直線化並びに同交差点の周辺の環境整備であります。交差点に係る横断歩道の設置については、採択済みであり、進行中。

しかし、その先が見えていない。横断歩道を渡るとどこへ行けばいいのか？現在は、学校の指定する通学路を通るそうです。芦原集落の狭い道であります。

さらに、この通学路までの歩道がない。整備されておりません。

また、県道東側には、歩道が設置されていますが、夜間には歩けない。夜間照明が必要。歩道の東側は、田・畑であり危険。防護柵が必要と村民の声。このような状況を踏まえ、村長いかがですか？全体を見ての整備計画が必要であります。目の先の整備も必要でありますが、村長は、もっと先見性かつ、視野を広く。でなければならない。これからも村民が暮らしやすく村民に寄り添った村政を。村長の夢を語ってもらいたい。夢・目標を持ち一歩でも近づける、近づくため、村民が真の幸福な状態になるためにはどのような努力をなされるか？そんな中、無医村が一つ解消されました。

さて私は、平成25年９月議会では、駅前からかがやきましょう。と銘打って「舟橋駅前ゾーンの整備」観光地化そしてそれに伴う駅前のロータリー化。平成27年６月議会で京坪川と河川公園の中間にユニークな橋を架ける。観光の目玉として。平成28年９月議会で、京坪川河川公園と舟橋駅前公園との連携行事の提案。「七夕祭り」を同時開催。平成28年12月及び平成30年９月議会では、舟橋小学校・中学校の一貫教育を提案「義務教育学校」。小学校と中学校を渡り廊下で結び中間に小ホールを建築。よりよい環境で学力向上を目指す。等々であります。ところで、サンフラワープロジェクトの一環である、現地に「看板」を設置した。

私は、電光掲示板の設置。さらには、飛び地でもよい。あまり離れないで？飛び地での拡大をいってきました。今や、ヒマワリ畑・ヒマワリ迷路は全国的です。

A 人口規模と暮らしの質を重視した村づくりを推進

パレットタウン横の県道と村道の交差点付近について、５月27日に上市警察署、立山土木事務所、村教育委員会、住民生活課で協議し、今年度中の横断歩道設置と交差点付近のカラー舗装を進めることとしている。また、交差点北側への歩道設置や、通行に支障となる歩車道境界ブロックの撤去、県道側用水の暗渠化についても立山土木事務所へ要望している。用水の暗渠化については、地元生産組合の意向も伝えており、6月の土木事業情報交換会でも改めて要望した。今後も住民が安全で暮らしやすい環境づくりに向け、必要な改善を働きかけていく。

舟橋村の人口ビジョンでは、人口は2045年頃まで増加し、3,900人を超える一方、2030年以降は高齢化率が上昇し、2050年には30％に達する見通し。その後は人口減少と高齢化がさらに進むと予測されている。また、現在のインフラでは水道の供給人口4,000人が一つの目安となるため、将来の村づくりには人口規模とインフラのバランスを考える必要がある。

本村は、子育て共助の取組や地理的条件、良好な住環境などから、新たな人口増加策を積極的に進めなくても、一定の人口増加が見込まれる。一方で過度な人口増加は、日本一小さな村ならではの自然や景観、人と人とのつながりなど、舟橋村の良さに影響を与える可能性もある。

今後は村外からの移住促進だけでなく、現在暮らしている村民に目を向け、こどもから高齢者まで誰もが自分らしく暮らせる環境づくりが重要。学びの機会があり、人とのつながりや生きがいを感じ、一人ひとりの存在が認められる、村民のウェルビーイングにつながる村づくりを進めていく。

06 一般質問 竹島 貴行 議員

◀動画はこちら



物的＆人的支援受け入れ体制確保へ

Q 防災対策の強化について問う

近年の地震や豪雨災害の教訓から、村の「備蓄品」の具体的な見直し方針と、物資を有効活用するための「有事のマンパワー（人員体制と外部連携）」の確保策を質す。

A 民間事業者や自治体との連携で災害対応体制を強化

能登半島地震以降、備蓄庫の整理・管理を進めており、今後は備蓄スペースの確保が課題である。民間事業者との連携により、食料や寝具等を供給できる体制も整えている。また、災害時の職員体制をルール化するとともに、県・15市町村による「チームとやま」等との連携を通じ、被災時に必要な人的支援を受け入れる体制の確保に努めるものである。

総合計画・公約 方向性に相違なし

Q 村政運営の総括について問う

任期終盤にあたり、二元代表制の下で総合計画・基本計画の達成度を含めた村長としての歩みと成果の総括を求める。

A 総合計画と公約が目指す村の将来像は共通

総合計画の前期・後期計画は、村の未来への発展に向けた取組の指標である。個々の公約との違いはあっても、目指すビジョンは舟橋村の未来の発展であり、その方向性に相違はないと考えるものである。

サイレン音等の発出実験を実施

Q Jアラートの改善について問う

聞こえづらさが課題の屋外スピーカーについて、7月のアンケート結果と年間維持費の確認を求めるとともに、村独自のサイレンや疑似音の導入など実効性ある対策を提言する。

A 複数の情報伝達手段を活用し周知体制を強化

Ｊアラートの屋外スピーカーは、気密性の高い住宅内への音声伝達に限界があるため、増設等よりも結ネットなど複数の情報伝達手段の活用が必要である。今後、既存スピーカーによるサイレン音等の発出実験を行い、アンケートを通じて効果を検証する予定である。

トイレの洋式化 改修で対応

Q 公共公衆トイレの洋式化について問う

公園や駅などの屋外トイレの改修進捗率を質し、改修困難な施設については村民の利便性向上に向けた建て替えの決断を迫る。

A 既存トイレの洋式化を優先して整備

現時点で建屋の建て替えは検討していないが、必要に応じて間取りの変更を検討する考えである。本年度は図書館横、来年度は京坪川河川公園西側のトイレ整備を予定している。会館前への新設は優先度が低く、既存の和式トイレを洋式化することを優先して進める考えである。

実践力を育む防災教育を実施中

Q 学校の防災実践力について問う

他自治体の小学校火災事例を鑑み、設備点検にとどまらない教職員の非常時対応力と防災教育の実態について教育長の見解を問う。

A 避難訓練を通じて児童生徒の防災対応力を育成

小中学校では防災計画や危機管理マニュアルを教職員で共有し、非常時の対応力向上を図っている。また、火災や地震等を想定した避難訓練を実施し、児童生徒が自ら状況を判断し、適切に避難できる実践力を育む防災教育に取り組んでいる。

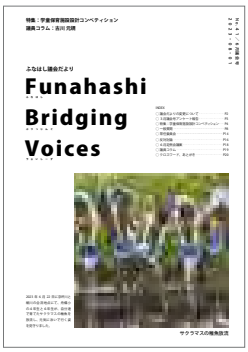
特集２：ふなはし議会だより表紙集

Funahashi Bridging Voices Cover Library

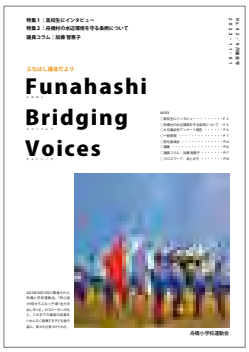
ふなはし ぶりっじんぐ ヴぉいしーず かヴぁーらいぶらりー

議会だよりに「Funahashi Bridging Voices」という愛称を付けてから、今号で14号となりました。「舟橋村民の声をつなぐ架け橋となる」という想いを込めて発行してきましたが、いかがでしたでしょうか。議会での議論や村政の動きはもちろん、議員一人ひとりの人柄や素顔も、少しでも皆さまにお伝えすることができていましたら幸いです。

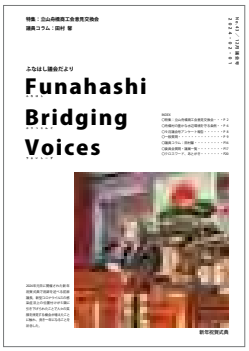
次号からは新たな体制での議会だよりとなります。これまでお読みいただいた皆さまに感謝申し上げるとともに、今後とも「議会だより」をよろしくお願いいたします。



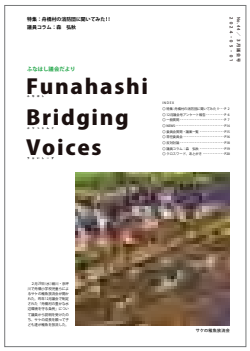
23.08.01



23.11.01



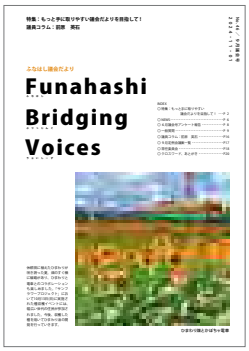
24.02.01



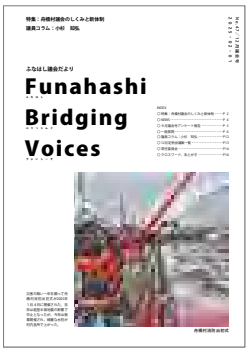
24.05.01



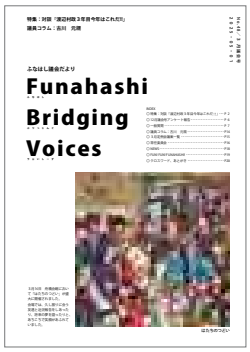
24.08.01



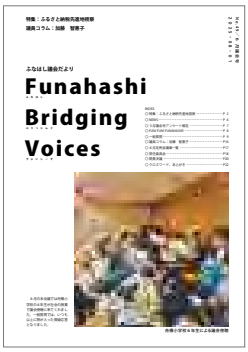
24.11.01



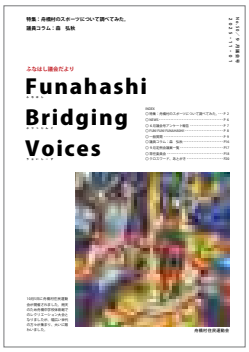
25.02.01



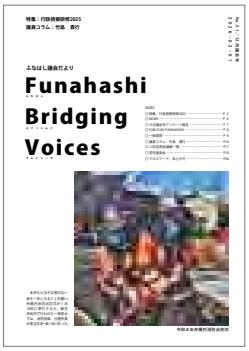
25.05.01



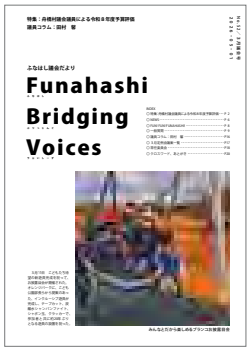
25.08.01



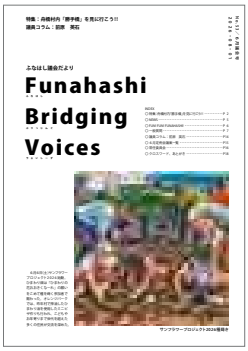
25.11.01



26.02.01



26.05.01



26.08.01

過去の議会だよりは
コチラから閲覧可能です

9月定例会議案一覧

会期：８月31日～９月11日

９月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う**委員会質問**。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先／議案　第28号・第29号・第31号（所管部分）・第32号（所管部分）・第35号（所管部分）・第36号：**総務教育常任委員会**
議案　第30号・第31号（所管部分）・第32号（所管部分）・第33号・第34号・第35号（所管部分）・第37号～第39号：**産業厚生常任委員会**



議案	内　容　説　明
㉘	農業の振興を図り、地域経済の活性化に資する施設を設置するため、**舟橋村農産物加工施設設置条例を制定**しました。
㉙	駐車場利用に係る通勤手当の加算規定の追加等、**舟橋村の職員の給与に関する条例を一部改正**しました。
㉚	地方自治法改正に伴い、条文中の引用条項の整理を行うため、**舟橋村簡易水道事業の設置等に関する条例を一部改正**しました。
㉛	令和８年度一般会計補正予算（第３号）…増額補正330万６千円 **舟橋未来ブリッジ会議負担金100万円、物価高騰対策として高齢者世帯への生活支援給付事業230万６千円の予算措置**について専決処分を承認しました。予算総額は23億7,496万６千円となりました。
㉜	令和８年度一般会計補正予算（第４号）…増額補正1,866万円 **地域商社出資金200万円、農道橋PCB含有塗膜対策設計業務委託料437万４千円、竹鼻地内用排水路護岸復旧工事費176万円、標準化に伴うシステム改修業務委託料163万９千円**等の予算が計上されました。予算総額は23億9,362万６千円となりました。
㉝	令和８年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）…増額補正20万３千円 **過年度保険料還付金**が予算計上されました。予算総額は8,050万１千円となりました。
㉞	令和８年度簡易水道事業会計において、**上下水道料金システム導入事業に充当する企業債823万８千円（収入）、令和７年度借入分の企業債償還利息（支出）59万７千円**が予算計上されました。
㉟	**令和７年度一般会計決算認定**の議案です。予算額25億6,766万7千円に対し、歳入決算額は25億4,988万4,198円、歳出決算額は23億8,280万880円でした。
㊱	**令和７年度土地取得事業特別会計決算認定**の議案です。予算額32万６千円に対し、歳入決算額は32万5,280円、歳出決算額は０円でした。
㊲	**令和7年度国民健康保険事業特別会計決算認定**の議案です。予算額１億5,095万8千円に対し、歳入決算額は１億4,141万3,779円、歳出決算額は１億3,922万5,784円でした。
㊳	**令和７年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定**の議案です。予算額7,431万2千円に対し、歳入決算額は7,487万450円、歳出決算額は7,156万8,558円でした。
㊴	**令和７年度簡易水道事業会計決算認定**の議案です。収益的収入は予算額6,836万３千円に対し決算額7,123万4,795円、収益的支出は予算額6,607万５千円に対し決算額6,353万9,190円でした。また、資本的収入は予算額2,140万円に対し決算額2,105万円、資本的支出は予算額5,257万6千円に対し決算額5,016万1,319円でした。
報　告 第２号	舟橋村の**財政健全化**に関し、**監査委員から報告**がありました。これは令和７年度決算における財政健全化比率及び資金不足比率についての報告です。実質公債費比率は7.8％、将来負担比率は11.1％と報告され、**財政は健全**であると報告されました。併せて、**財政の是正改善を特に指摘する事項は無い**との報告もされました。



委員会質問 住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

農産物加工施設 年明けの運用開始を目指して整備

問 農産物加工施設の運営体制や指定管理者制度の導入方針、機器設置・施設運用開始までの進捗状況は。（古川）

答 将来的には指定管理者制度の導入も見据えているが、現時点では委託による事業実施を予定している。現在、導入機器の選定や施設全体の調整業務を委託して進めており、年内の機器設置完了、年明けからの施設運用開始を目指している。運用に当たっては、既存の味噌加工利用者との調整を図りながら進める方針である。本事業は４月から計画的に進めており、現時点で大きな遅れは生じていないと認識している。



農産物加工施設 施工と機器調達の経費を区分

問 農産物加工施設整備事業について、今回の補正予算で建物工事費と機器類の選定・調達経費に区分した理由と、総事業費が増額となった要因は何か。（森）

答 当初予算では事業費全体を工事費として計上していたが、建物の施工と機器類の選定・調達では事業者が異なることから、今回の補正予算において、建物の工事費と機器類の選定・調達に係る経費を区分した。また、当初予算編成時からの物価高騰の影響により、総事業費は増額となったものである。

物価高騰対策支援事業 支援対象を高齢者のみの世帯とし、猛暑への迅速な対応のため専決処分により実施

問 支援対象を65歳以上の高齢者のみの世帯に限定した理由と、専決処分により事業を実施した理由は何か。（古川・田村）

答 今回の交付金は、物価高騰対策として幅広い用途に活用できるものである。これまで子育て世代への支援を実施してきたことから、今回は他の世代への支援を検討した。低所得者世帯や高齢者を含む世帯なども対象として考えられたが、税負担や現役世代との同居による世帯収入などを総合的に勘案し、65歳以上の高齢者のみの世帯を対象とした。猛暑の中、電気料金を気にせず十分にエアコンを使用し、安心して生活していただくことを目的に、速やかな支援が必要と判断し、専決処分により実施したものである。

防災士の増員と資質向上を図り、防災士同士の連携による防災体制の構築を目指す

問 村内の防災士の資格保有状況と、資格取得後の研修や地域での活動をどのように支援し、防災士同士の連携による地域防災力の向上につなげていく考えか。（加藤）

答 現在、村内には27名の防災士資格保有者がいる。資格取得後も研修等を通じて知識の向上を図るとともに、富山県防災士会への積極的な参加により、県全体での防災活動を通じて得た知見を地域の防災啓発に生かしていただきたい。今後は防災士の増員と資質向上を図り、各地域への知識の還元を促進するとともに、村内の防災士が連携し、災害時に備えた防災体制を検討できる仕組みづくりが重要であると考えている。



村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

竹鼻リバーサイド公園 石積み護岸を保存する施工を計画

問 一般会計補正予算に計上されている、竹鼻地内用排水路護岸復旧工事の施工範囲は竹鼻リバーサイド公園敷地内という認識か、単に用排水路の工事という認識か。現状石積み護岸であるが施工方法は。（古川）

答 河川改修前の旧細川の河川敷であり、村が管理する竹鼻リバーサイド公園敷地内での施工という認識。石積み護岸を残してほしい旨の舟橋小学校児童の要望も受けており、型枠を組みコンクリートで固定し、石積み護岸は残す施工計画としている。

PCBは年度内に処分 橋梁撤去に向け国・県に財政支援を求める

問 農道橋PCB含有塗膜対策設計業務委託料が一般会計補正予算に計上されているが、PCBが検出された場合は今年度内の撤去が義務付けられているが、進捗状況は。また、当該農道橋の取扱いについて今後の方針は。（小杉・竹島）

答 PCBは当該農道橋の点検中に発見されたもの。国の方針に従い、年度内に撤去処分する。橋梁本体は危険度が１～４の範囲で判定されることになる。危険度４であれば早々に撤去する必要がある。橋脚に損傷が見受けられることもあり、危険度が４でなくとも村としては撤去したいと考えている。解体するにも多額の予算が必要であり、村財政負担を少しでも軽減できるよう、国や県に働きかけてまいりたい。

地域計画に基づく担い手育成と各種支援により農業振興を図る

問 農業を村の基幹産業として育成するために、村がこれまでに実行してきた施策は。また、農業振興基金を創設する考えはないか。（竹島）

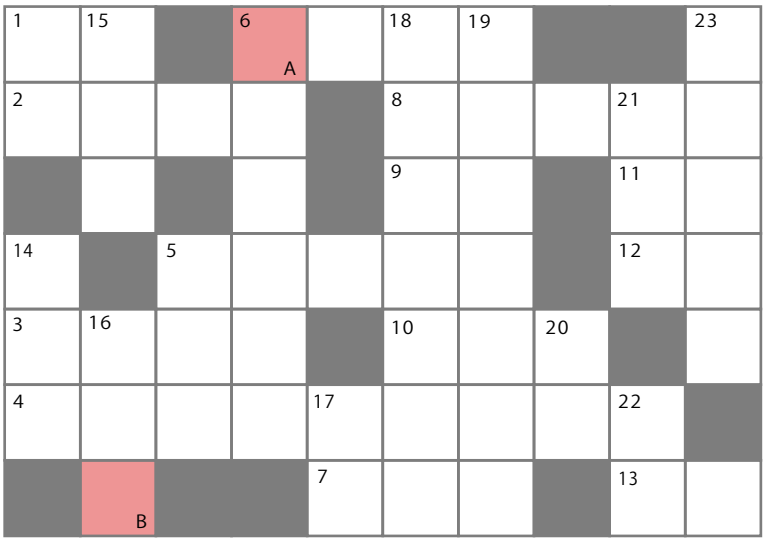
答 農業を村の基幹産業として育成するため、地域計画に基づく担い手の育成を中心に、各種支援施策を展開している。農業共同経営体支援事業では、農機具購入や施設整備に対し、県内でも高水準となる補助率30%、上限300万円の支援を実施している。また「富富富」乾燥調製施設の整備には令和６年度に県費200万円、村費300万円を投入したほか、新規青年就農者への年間150万円の交付や、農産物の加工品開発・施設整備に対する30%の補助など、多面的な支援を行っている。今後も既存施設を通じて農業振興を図る方針であり、新たな農業振興基金等の創設は考えていない。

維持管理費縮減を見据え計画的な施設修繕を検討

問 令和７年度主要施策報告書において、道路・施設等修繕費の増額に伴う維持補修費の増と記載があるが、内容は。（小杉）

答 県単独道路改良事業負担金、駅南駐車場側溝改修、図書館配管修繕、各学校の小修繕等。工事費の増額は、物価高騰に加え、雨漏り修繕など当初想定していなかった工事が発生したことによるもの。現在は原状回復を基本とした修繕を行っているが、長期的には、施設の耐用年数を考慮した予防保全により、維持管理費の縮減が期待できることから、今後は計画的な修繕についても検討していきたい。

Bridging Crossword



10月より村内で
試験運行されています。
コミュニティ A B

○ヨコのカギ

1：英語で autumn といえば
2：2004 年から 20 年で約 8.5 倍の価値が上がった貴金属（英語）
3：全国瞬時警報システム「J○○○○」
4：前原議員の９月定例会での一般質問
「○○○○○○○○○施設の今後の展望について」
5：「歩くような速さ」を示す音楽の速度記号
6：1 度離婚を経験した者を指す俗称
7：ふすまや障子などをはめ込む下の枠のこと
8：あとから特別に行なう試験のこと
9：今年の中新川郡町村議会議員研修会で視察した場所の名称
「ALSOK○○防災館」
10：「建前」の対義語
11：イタリア語で「rosso」の意味
12：L・G・B・T・Qの「G」が頭文字の言葉
13：「鱒」の読み

○タテのカギ

1：トビウオの別名
5：沖縄の岩場に生息する緑色の海藻の名前
学名は Monostroma nitidum
6：イギリスに古くから伝わる羽根突き遊びが起源のスポーツ
14：弦をハンマーで叩くことで発音する鍵盤楽器
15：ウクライナの首都
16：アイヌ語の「ラウシ（獣の骨のある所）」
などに由来していているとされる自治体「○○○町」
17：英語で「samurai」の意味
18：一念発起の言い換え
19：中学校では部活動の「○○○○○○○」が始まっています
20：ドイツ語で「katze」の意味
21：階段における 1 段分の垂直方向の高さの事
22：今年の干支
23：所属議員全員で構成され、最終的な決定を行う重要な会議

議会広報特別委員会

委 員 長：小杉　知弘
副委員長：古川　元規
委　　員：前原　英石

あとがき

この号が村民の皆さんに届く頃には、村長および村議会議員の選挙も終わり、村政を取り巻く環境も変化していることかと思います。とにかく手に取りやすいスタイリッシュな議会広報を目指して製作をしてきたFBVですがいかがだったでしょうか？現在の広報委員会で作成するのはこれで最後ですので、次回からはまた様相が大きく変わるかもしれませんが、これまで議会広報に目を通していただきましてありがとうございます。今後も議会広報は続くと思われますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。（古川 記）

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。

▲
読者アンケートフォーム

舟橋村議会事務局
〒930-0295　富山県中新川郡舟橋村仏生寺 55
TEL：464-1121(代)　FAX：464-1066　Mail：info@vill.funahashi.toyama.jp